

術前抗菌薬投与について



術前に抗菌薬を投与する理由を知っていますか？

答え：SSI（手術部位感染）予防

術後30日以内に手術操作の部位におこる感染症

手術医療の実践ガイドラインでは、「初回投与は手術開始前60分以内に行う」とされています。手術開始時に血中濃度、組織内濃度が上昇していることが必要であり手術室入室後に投与します。

SSI予防のため、術野を汚染する可能性の高い菌を対象として薬剤を選択しています。

清潔手術（外科ヘルニア手術、脳外科手術、産婦人科手術、泌尿器科手術など）は、皮膚常在菌を対象として、CEZやペニシリン系抗菌薬が推奨され、消化器系手術、特に下部消化管手術ではグラム陰性桿菌や嫌気性菌を対象として、CMZやFMOXが推奨されます。

術中は、血中濃度を維持するために、2～4時間ごとの追加投与が推奨されています。

その他に・・・

- ・禁煙（術前30日間）
 - ・皮膚の清潔（シャワー、入浴、清拭）
 - ・血糖コントロール
 - ・除毛は必要時のみ直前に行う
- などもSSI予防の面から推奨されています。



術前の抗生剤が処方されていない場合は主治医に確認しましょう